

経営協議会の学外委員からの御意見に対する取組状況

(平成27年度第5回～平成28年度第4回)

	御 意 見	現 在 の 取 組 状 況
研究	<p>【外部資金等受入実績について】</p> <p>○全国的に大分大学と同規模レベルの大学で、うまく獲得している大学の事例はないか。</p> <p style="text-align: right;">(28.9.29 平成28年度第4回)</p>	<p>産学官連携活動の取組として、顕著な成果がある大学は徳島大学の取組が一例として挙げられる。これは、地元大手銀行の企業ネットワークを活用して各社社長と面談し、企業の課題を抽出して大学研究者とのマッチングを図り、結果として特許権実施等収入が前年の33倍（1億1,622万円）となり、また活動が低迷していた四国TLOによる共同研究獲得への貢献度が20%（8,200万円）となったものである。</p> <p>活動内容としては目新しいものではないが、この取り組みにあたっては、8か月間2名の教員により、「企業訪問数：435社」、「教員の訪問人数：延367人」と非常に意欲的な活動を行い、また、一般的に教員の参画割合は2割といわれている産学官連携活動に対し、多くの教員参加があったことが成功要因であると思われる。</p> <p>このほか顕著な事例はないものの、本学・他大学とも中期目標・中期計画において共同研究・受託研究の10～20%増を設定しており、本学においても、研究成果発表、コーディネート活動等現在の取組を見直しつつ充実させるとともに、他大学が実施している、共同研究スタートアップ支援のための学長戦略経費等の予算措置や産学交流振興会の充実・新規開催について検討を進める。</p> <p>一方で、また、研究室訪問、各種セミナー等を通して、教員の産学官連携活動に対する理解、積極的な取組意識をさらに醸成すべく、産学官連携推進機構が中心となり意識改革に努めることとしたい。</p> <p>加えて、6月に寄附金の獲得戦略を新たに策定しており、今後「大分大学基金」を設置し、より具体的に寄附金を獲得すべく準備を進めているところである。</p>

<p>入試</p>	<p>【平成28年度入学者選抜実施状況・入学状況について】</p> <p>○福祉健康科学部について、今回の結果をどのように受け止めているのか。具体的に入試の得点を分析し、教育福祉科学部と福祉健康科学部の学生との客観的な分析も具体的にしてほしい。</p> <p>(28.6.6 平成28年度第2回)</p>	<p>福祉健康科学部では、アドミッションポリシーに沿って国が示す学力の3要素を総合的に評価する入学者選抜を先取りする形で実施した。すなわち、個別学力試験においては、判断力・思考力・表現力を評価する手段として小論文を、主体性・協働性・自主性を評価する手段として面接を実施することとし、従来のような国語、数学、英語などといった教科の試験を課さないことにした。このことも、これまでの教科中心に受験を準備してきた受験生に戸惑いを生じさせ、出願を躊躇させた一因となっている可能性がある。</p> <p>同会議で回答した内容（学力的に問題のない学生が入学している）にかかわる客観的なエビデンスを得るために、入学企画支援センターの専任教員を中心に、過去数年分の入試データをもとに、教育福祉科学部と福祉健康科学部の対応する教育プログラムの入学試験に関わる状況の分析に取り掛かっている。具体的には、教育福祉科学部の人間福祉科学課程社会福祉コースならびに人間福祉科学課程心理健康福祉コース心理分野での一般入試での合格者と福祉健康科学部の社会福祉実践コースならびに心理学コースの一般入試での合格者における得点率について、大学入試センター試験、個別学力試験を含む学力試験の比較を行っているところである。これまでの分析では、これらの比較においても高得点にシフトした学生が入学してきている様子が伺われるが、今後詳細について精査した上で、入学企画支援センター運営委員会等で確認のうえ、年度内には経営協議会でご報告したいと考えている。</p>
<p>経済学部</p>	<p>【経済学部の改組について】</p> <p>○「事業共創学科」という名称について、「共」にかけた思いは分かるが、あまり重要性はないのではないか。</p> <p>○企業が採用するとき「事業共創学科」といっても魅力を感じないような気がする。</p>	<p>学科名称については、本会議でのご指摘や文部科学省の意見等を踏まえて再度検討し、最終的に「社会イノベーション学科」とした。</p> <p>なお、本年9月の本会議でも報告したとおり、文部科学省の認可を受け、平成29年4月の設置が決定している。</p>

	(27.12.22 平成27年度第5回)	
工学部	<p>【理工学部設置申請について】</p> <p>○名称は理工学部だが、内容的には農林水産業も含まれており、大分県のニーズに応えるべく、ぜひ宣伝してほしい。</p> <p>(28.3.24 平成27年度第7回)</p>	<p>平成28年8月末に文科省から設置許可を得た。29年4月から2学科8コース（創生工学科、共創理工学科）の体制で、15名の定員増の385名定員でスタートする。共創理工学科の応用科学コース及び自然科学コースで「食」に関連する講義、教育、研究をスタートさせ、県内のニーズに対応できる体制を取っている。新しいコースの設置については、これまでの高校生への受験説明から、多くの質問等を戴き興味を持って戴いている。</p>
経済学部 工学部	<p>【機能の再構築・強化に係る検討状況について】</p> <p>○学科の創設に当たり、学生募集時に高校生によく分かるパンフレットを作るなど工夫してほしい。</p> <p>(28.3.24 平成27年度第7回)</p>	<p>【経済学部】</p> <p>経済学部では、改組に伴う新設の社会イノベーション学科の紹介を中心とした高校生向けパンフレットを作成し、高校へ出向いて進路指導の先生との意見交換会で広報するとともに、オープンキャンパスをはじめとする高校生向け進路指導説明会で配布した。</p> <p>また、大学ホームページにアップし、受験生や保護者等へ広く紹介した。</p> <p>なお、AO入試、推薦入試ともに志願者数は昨年度から増となっている。</p> <p>【工学部】</p> <p>改組後の「設置の概要」「養成する人材像」等を、分かり易く掲載したリーフレットを作成した。</p> <p>併せて、大学HP及び学部HPに高校生向けの理工学部HPを開設した。</p>